

きよせ

今号の主な内容

- 特集1 きよせさくらまつり & 第18回 きよせかたくりまつり開催 … 4面
- 特集2 春休み前に見直そう! 自転車のルールとマナー … 5面

お知らせ～information … 6～8面

スマートフォンなどで市報が読める「マイイロ」ダウンロードはこちら⇒



台風やゲリラ豪雨などの際に冠水してしまう箇所の雨水浸透化工事を行う他、柳瀬川5号線雨水幹線整備事業は、大林組技術研究所西側の柳瀬川通りとけやき通りの間に直径2.5mの雨水管敷設工

平成29年度は、第4次長期総合計画の2年目の年となります。基本理念に掲げる「手をつなぎ 心をつむぐ みどりの清瀬」の更なる具現化に向け、厳しい財政状況においても、市民生活に目を向け、市民の皆さんの健康や福祉の向上に努めます。



2月28日に開会した清瀬市議会第1回定例会の冒頭で、渋谷金太郎市長が、平成29年度の基本市政の運営方針や主要事業についての考え方を表明しましたので、その要旨をお知らせします。なお、所信表明の全文は市ホームページに掲載しています。

平成29年度の所信表明(要旨)

「手をつなぎ 心をつむぐ みどりの清瀬」の更なる具現化を、子育て支援や健康寿命を延ばす取り組み、安全・安心なまちづくりを進めます。

安全でうるおいのある暮らしができるまち

特に、子育て支援や健康寿命を延ばす取り組みは、市民の皆さんと協働し、新たな事業にも積極的に取り組みます。また、昨年8月の台風9号の際には、初めて避難勧告を発令するなど、これまでにない自然災害が発生していることから、引き続き、水害や震災に対する備えに万全を期し、安全・安心なまちづくりを進めます。

台風やゲリラ豪雨などの際に冠水してしまう箇所の雨水浸透化工事を行うなど、今後も計画的に進めていきます。また、子どもたちが安全に通学できるよう、六小前の市道0115号線は、病院街通りの交差点から乳児保育園前までの歩道拡幅工事を行う他、芝山小

健康でともに支え合うまち

各種福祉計画の策定を行う他、地域包括ケアシステムの構築に向け、医療・介護の連携を進めるとともに、地域の生活支援サービスを担うサポーターを養成する講座などを行います。また、子育て中に親の介護が重なるダブルケアを支援する「家族まるごと支援事業」

子どもたちを健やかに育むまち

1月に発表された平成27年東京都人口動態統計では、清瀬市の合計特殊出生率は1.32で、26市の平均値と同じとなりました。26年の1・16に比べ0.16ポイント上昇しています。

まず、待機児童対策として、小規模保育所を新たに3園開設する他、平成30年度の開設に向け中里六丁目地域に新設の私立保育園を整備します。また、低所得世帯の負担の軽減を図るため、年収約360万円未満の世帯の第2子以降の保育料を無料にします。

豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち

子どもたちとの交流も図ります。また、就学援助費は、生活保護基準の見直しに伴う影響が及ばないよう、引き続き市独自で従来基準を適用するとともに、入学準備金の先行支給を行います。清瀬駅南口地域への児童館等の設置についても検討を始めます。

都市格が高いまち

清瀬市にしかない宝物に光が当たることで、清瀬市の都市格もどんどん高まっています。そしてそこには、多くの市民の皆さんやさまざまな団体と職員が連携、協働する現場力があります。

さらに、妊娠前から子育て期にわたり切れ目のない支援を行う「ネウボラ」を実施する他、保育園などを利用する児童が発熱などを起こした場合に、病児保育室、チルミチル」の職員が児童を迎えに行く病児保育送迎サービスを開始します。